

情報提供先市町村

市町村長 殿

紹介元医療機関の所在地及び名称

電話番号  
医師氏名

印

患者氏名

性別 (男・女) 生年月日 明・大・昭 年 月 日生 (歳) 職業

住所

電話番号

診療形態	1. 外来	2. 往診	3. 入院 (年 月 日)	情報提供回数	回
傷病名 (疑いを含む)	1. 脳梗塞 (ア. 脳血栓 バ. 脳塞栓 ウ. 不明)		2. 脳出血	3. クモ膜下出血	
	4. その他の脳血管障害				
	発症年月日		年 月 日		
	受診年月日		年 月 日		
初発 / 再発	1. 初発	2. 再発 (年 月 日 初発)			
その他の傷病名					

寝たきり度 (該当するものに○)

- J 一部自立 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。  
 A 準寝たきり 屋内の生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。  
 B 寝たきり 1 屋内の生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上の生活が主体であるが座位を保つ。  
 C 寝たきり 2 1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。

日常生活活動 (ADL) の状況 (該当するものに○)

移動	自立・一部介助・全面介助	食事	自立・一部介助・全面介助
排泄	自立・一部介助・全面介助	入浴	自立・一部介助・全面介助
着替	自立・一部介助・全面介助	整容	自立・一部介助・全面介助

認知症である老人の日常生活自立度 (該当するものに○)

- I 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。  
 II 日常生活に支障を来すような症状、行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立可能。  
 III 日常生活に支障を来すような症状、行動や意思疎通の困難さが時々みられ、介護を必要とする。  
 IV 日常生活に支障を来すような症状、行動や意思疎通の困難さが頻繁にみられ、常に介護を必要とする。  
 M 著しい精神症状や問題行動あるいは、重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする。

病状・既往歴・治療状況・退院の年月日等

訪問診療 有・無

訪問看護 有・無

必要と考える保健福祉サービスの内容等提供する情報の内容

- 注意 1. 必要がある場合には、続紙に記載して添付すること。  
 2. わかりやすく記入すること。  
 3. 必要がある場合には、家庭環境等についても記載すること。